

株式会社シダー

2022年3月期 第2四半期決算説明会



2021年12月15日



株式会社シダー

いつも春の陽だまりでありたい



会社概要 (2021年9月30日現在)

設立	1981年4月	
本社	福岡県北九州市	
資本金	4億3,228万円	
事業内容	デイサービス	ホームヘルプサービス
	有料老人ホーム	ショートステイ
	グループホーム	福祉事業
	訪問看護	障害支援事業
	ケアプラン	
従業員数	2,059名	
事業所数	110カ所	

現在の事業所数 (2021年9月30日現在)

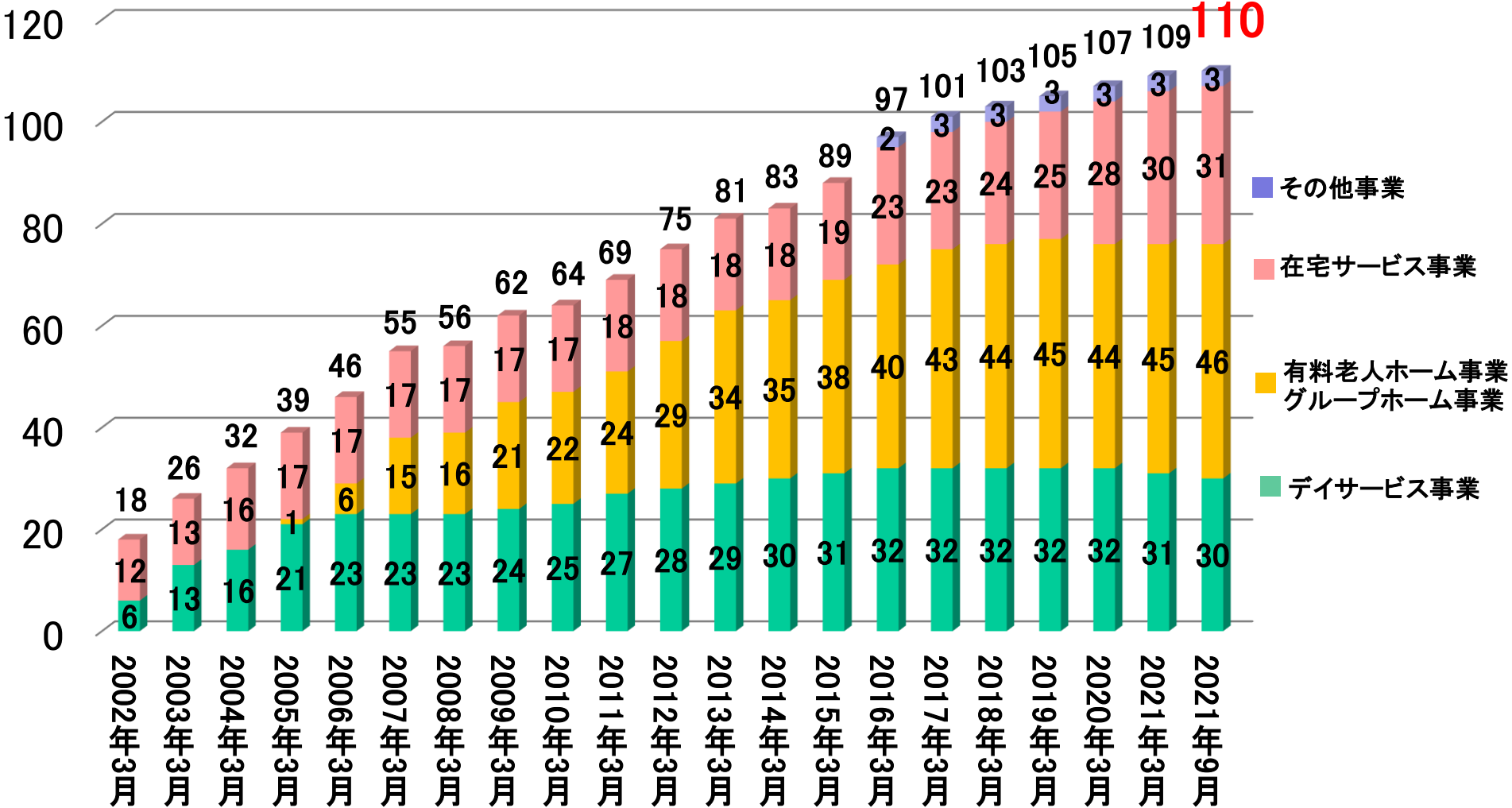
【全国 110事業所】

事業名	事業所数
デイサービス	30
有料老人ホーム	44
グループホーム	2
訪問看護ステーション	5
ヘルパーステーション	3
ケアプランセンター	23
福祉用具販売	1
福祉用具レンタル	1
就労支援A型事業所	1



事業所数推移

(事業所数)



目次

- 2022年3月期 第2四半期決算概況（連結）
- 2022年3月期 業績予想及び配当予想
- セグメント別の事業概況
- 当社の取り組むべきこと

2022年3月期 第2四半期決算概況（連結）

ハイライト

■ 売上高では、デイサービス事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により一部利用控えも見られたが、昨年同期比では、稼働率の向上により増収。施設サービス事業では新規開設した施設の利用者獲得に注力し既存店においては、新型コロナウイルス感染症の間接的な影響もあり、昨年同期比では減収。

在宅サービス事業では、訪問看護の訪問件数の増加、ケアプランの計画作成数の増加により増収。

■ 営業利益・経常利益については、売上高が低調に推移したことに加え、新規施設の開設費用が重く、売上原価（人件費・経費）が大幅に増加。また、販管費についても昨年同期に比べ、事業活動が活発化したことに伴い、間接コストが増加したため、営業利益・経常利益とも減益。

2022年3月期 第2四半期決算概況(連結)

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期(累計)	2022年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	7,771	7,855	83	1.1%
営業利益	550	170	△380	△69.1%
経常利益	411	31	△380	△92.4%
四半期純利益 又は 四半期純損失	284	△36	△321	—

※四半期純利益は「親会社株主に帰属する四半期純利益」

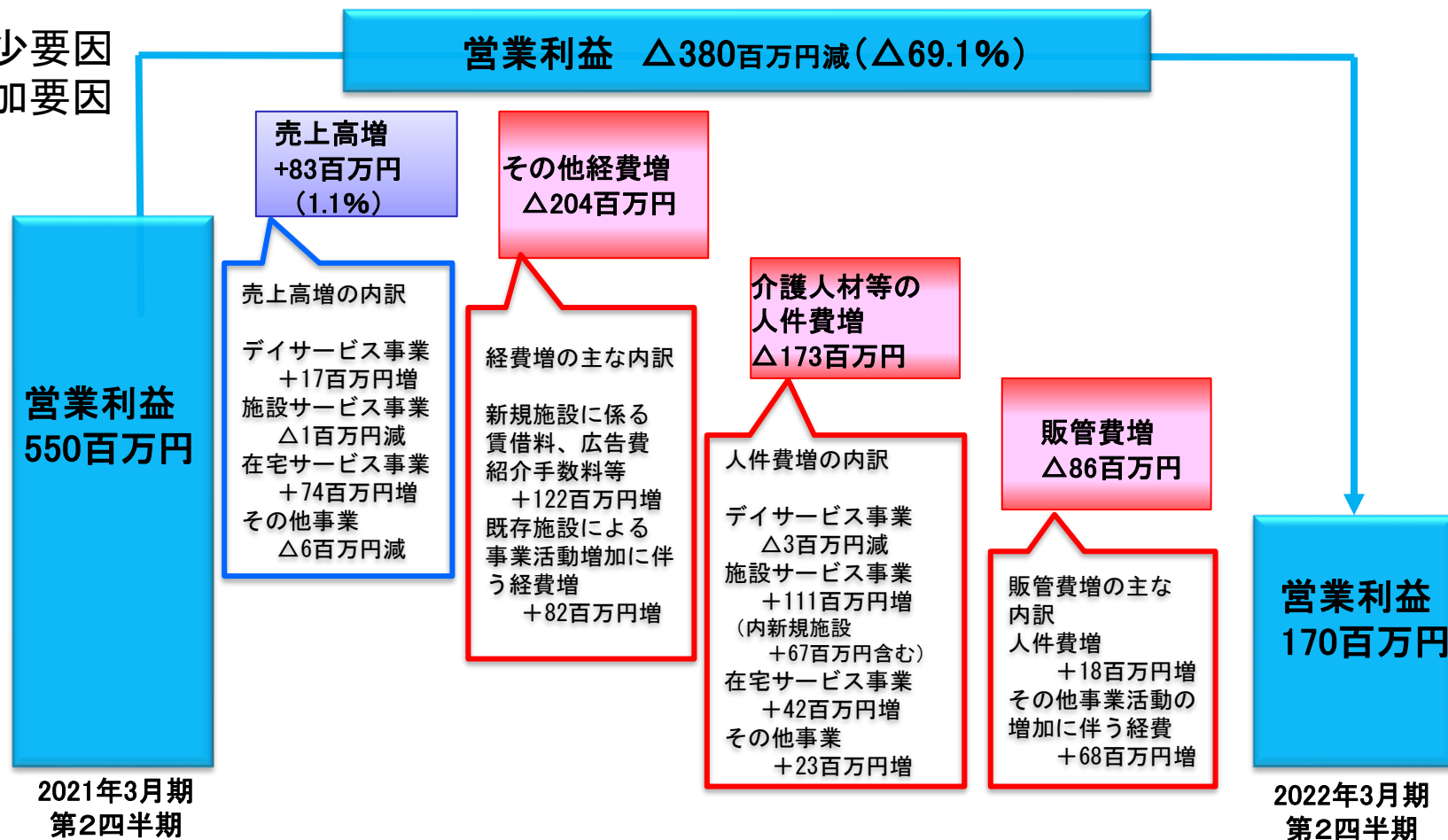
※四半期純損失は「親会社株主に帰属する四半期純損失」



2022年3月期 第2四半期決算概況(連結)

営業利益の主な増減要因

■ 減少要因
■ 増加要因



2022年3月期 第2四半期決算概況(連結)

セグメント別売上高

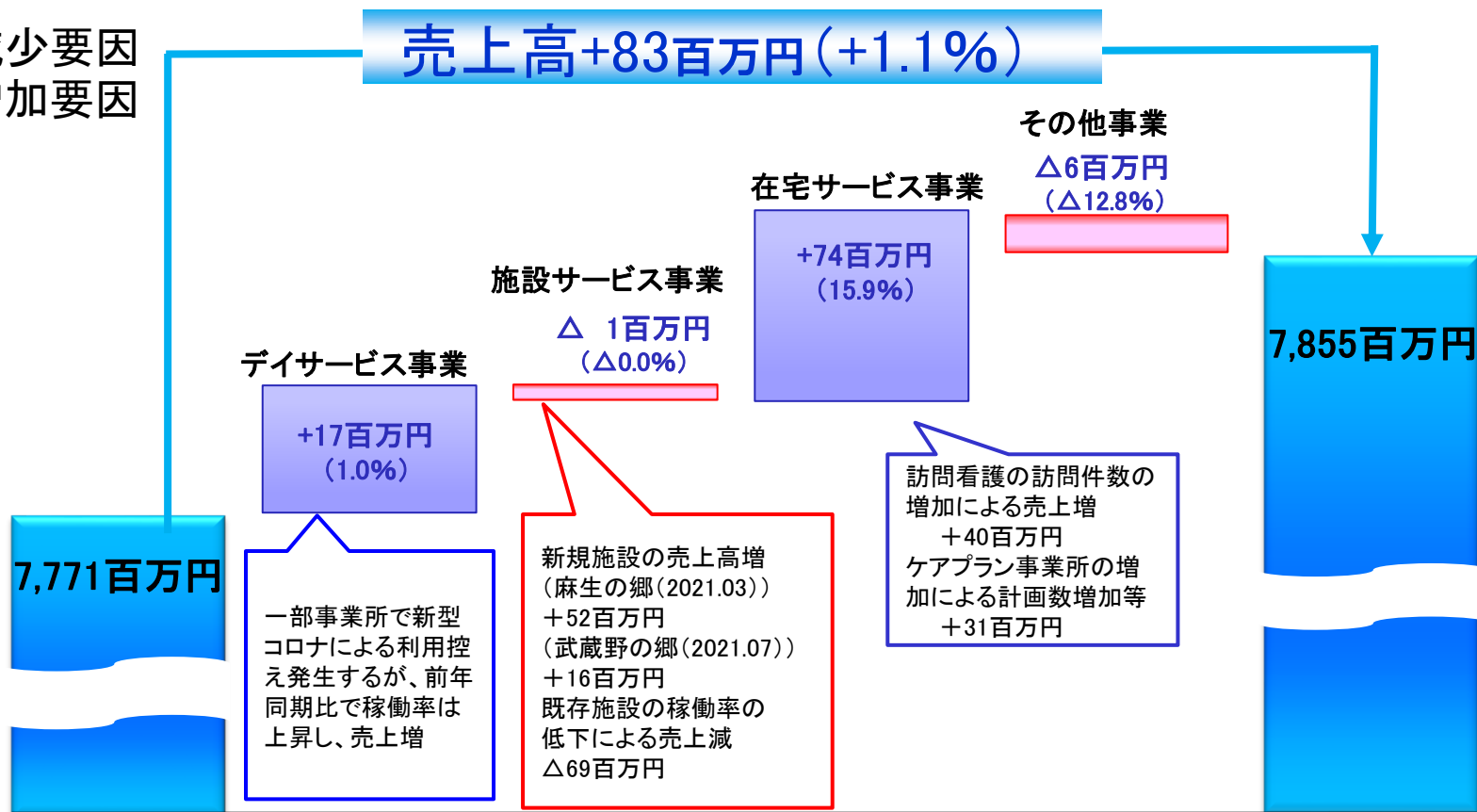
(単位:百万円)

売上高	2021年3月期 第2四半期(累計)	2022年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	
			増減額	比率
デイサービス事業	1,751	1,768	17	1.0%
施設サービス事業	5,495	5,493	▲1	▲0.0%
在宅サービス事業	470	545	74	15.9%
その他事業	54	47	▲6	▲12.8%
全事業合計	7,771	7,855	83	1.1%

2022年3月期 第2四半期決算概況(連結)

セグメント別売上高の主な増減要因

- 減少要因
- 増加要因



2021年3月期第2四半期

2022年3月期第2四半期

2022年3月期 通期決算見通し

(単位:百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	15,613	16,229	615	3.9%
営業利益	809	623	△186	△23.1%
経常利益	674	354	△320	△47.4%
当期純利益	387	196	△190	△49.2%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

- 当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は今年度末に向けて、収束傾向にあると判断しておりますが、現時点においては、2021年8月6日に発表した連結業績予想を据え置きます。今後の業績に応じて修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

配当金について

当社は事業拡大による成長のための投資資金及び内部留保と利益配分とのバランスを念頭に、株主への安定継続した配当に加え業績の伸長に応じた配当を実施することを基本方針としております。

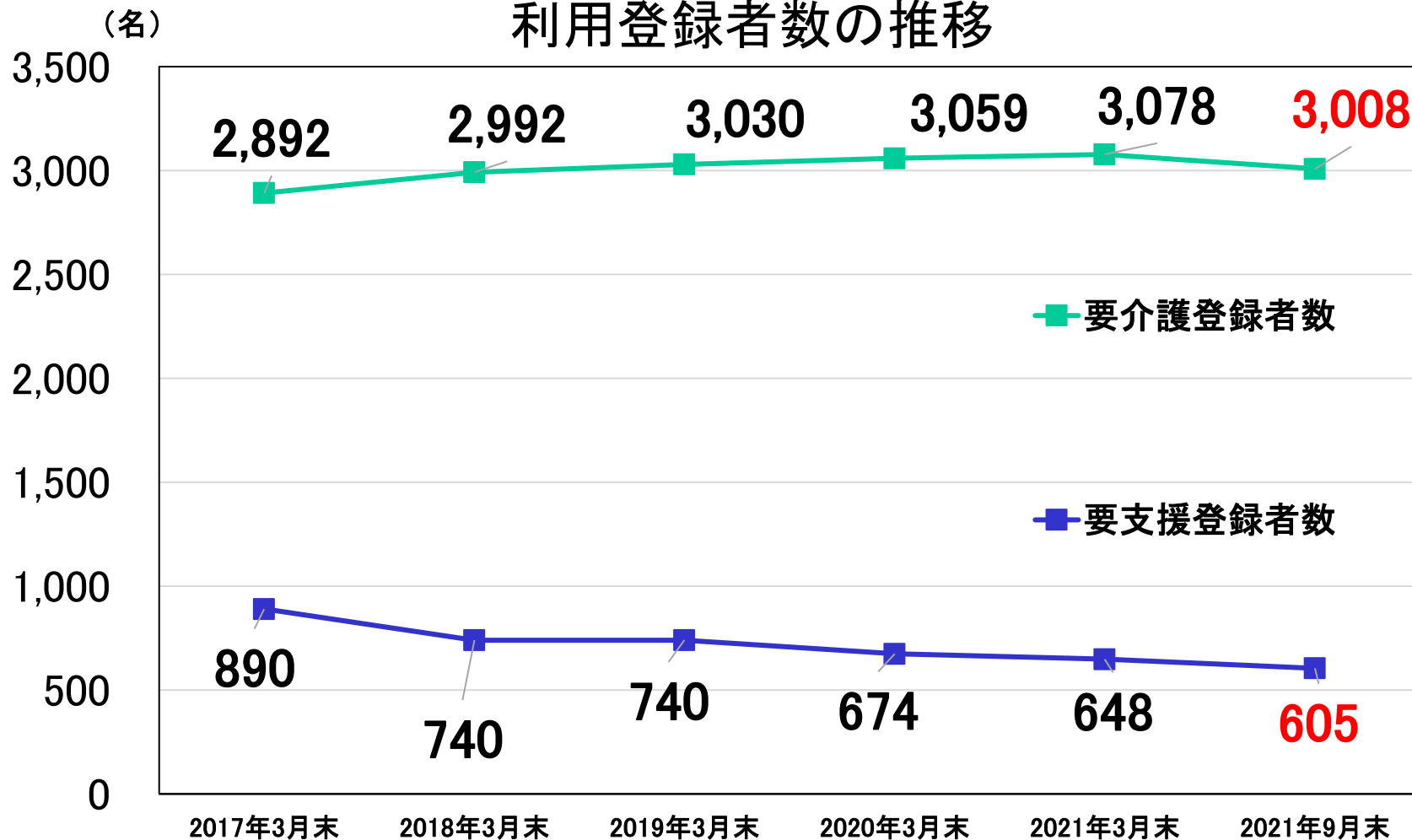
上記の基本方針を踏まえ、2022年3月期の配当につきましては、現時点の業績予想に基づき、期末配当として1株当たり4円を予定しております。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	—	0円00銭	—	4円00銭	4円00銭
2021年3月期	—	0円00銭	—	6円00銭	6円00銭
2022年3月期 (予定)	—	0円00銭	—	4円00銭	4円00銭

セグメント別の事業概況

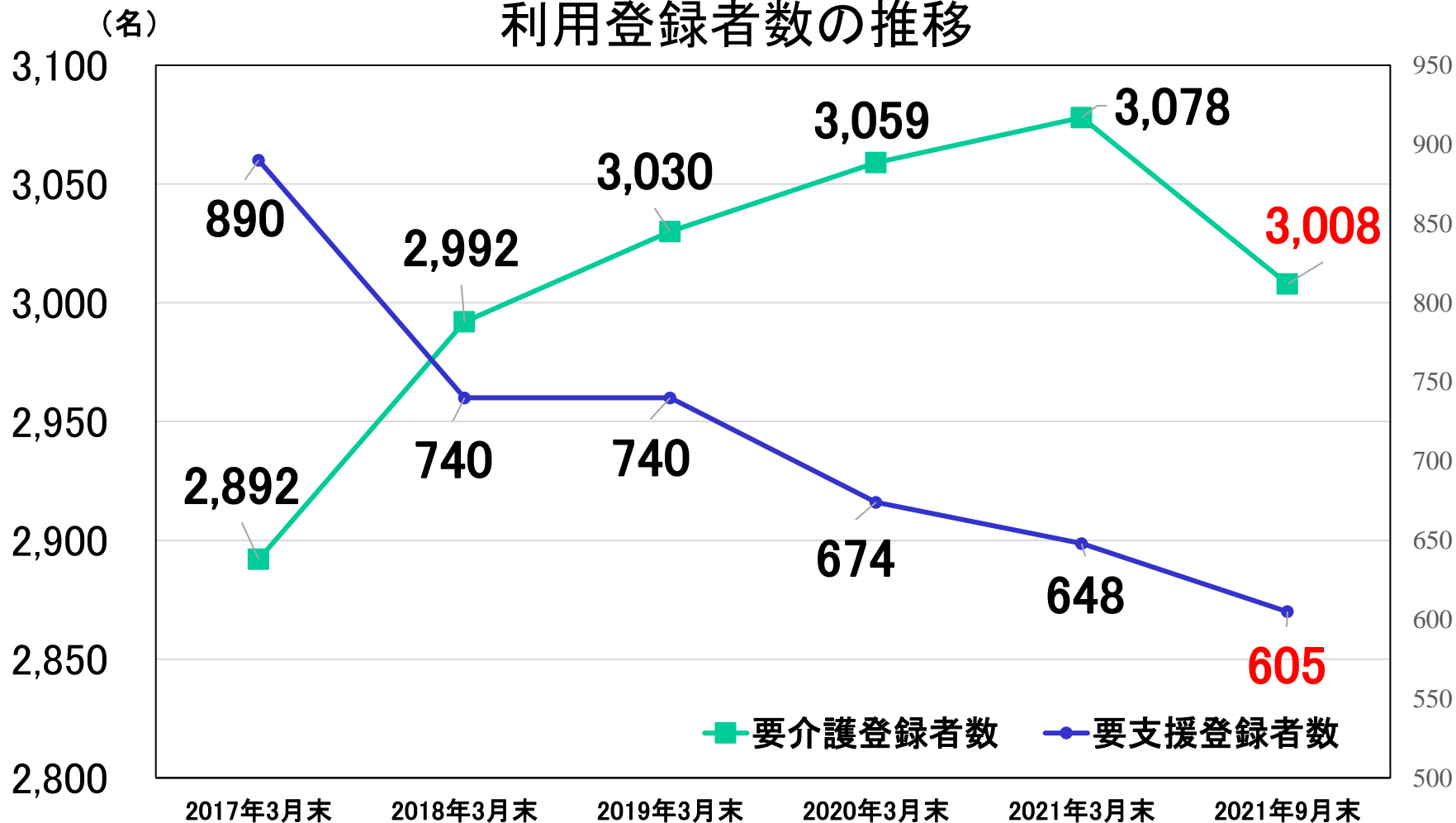
デイサービス事業

利用登録者数の推移

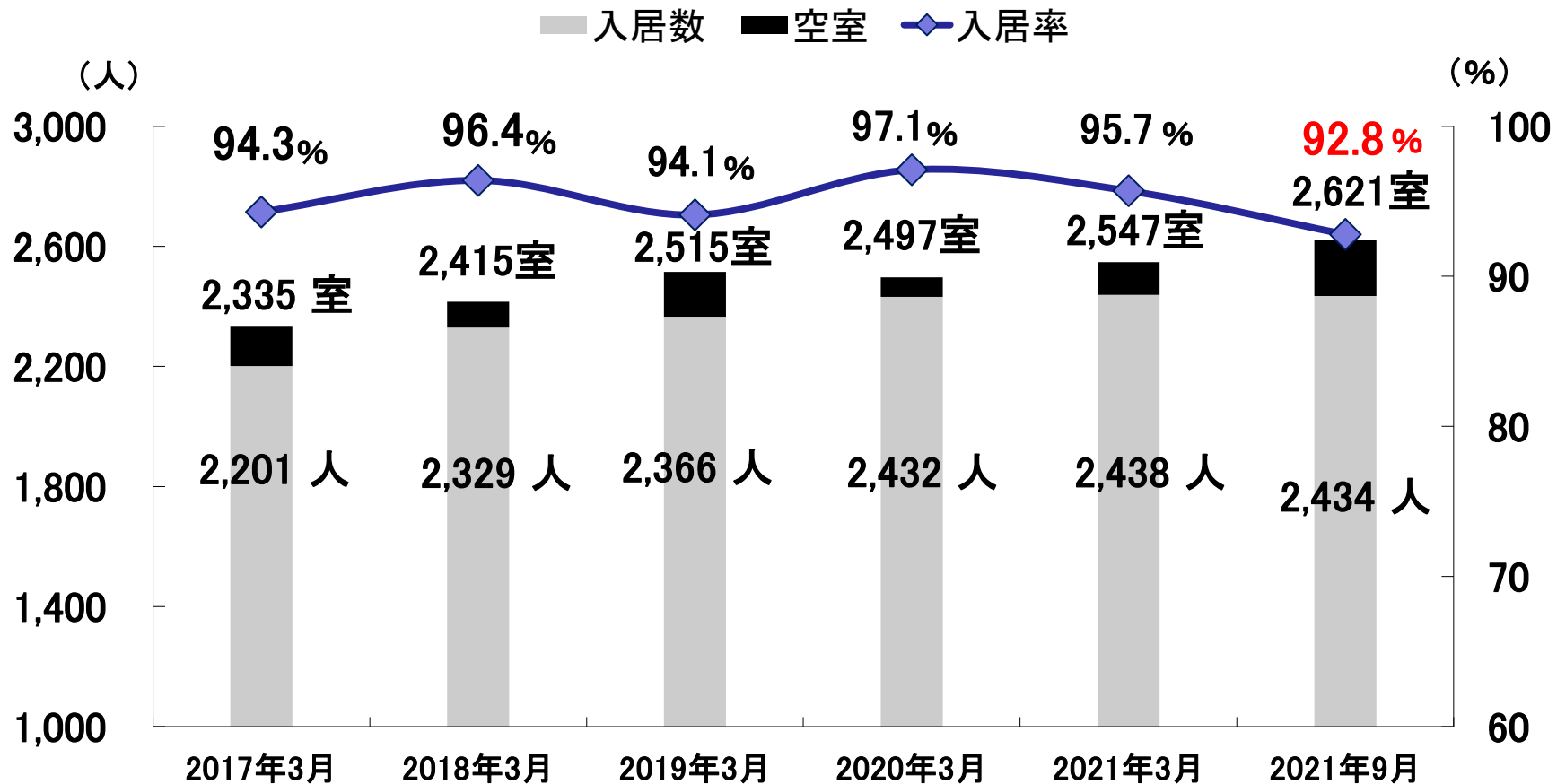


デイサービス事業

利用登録者数の推移



施設サービス事業

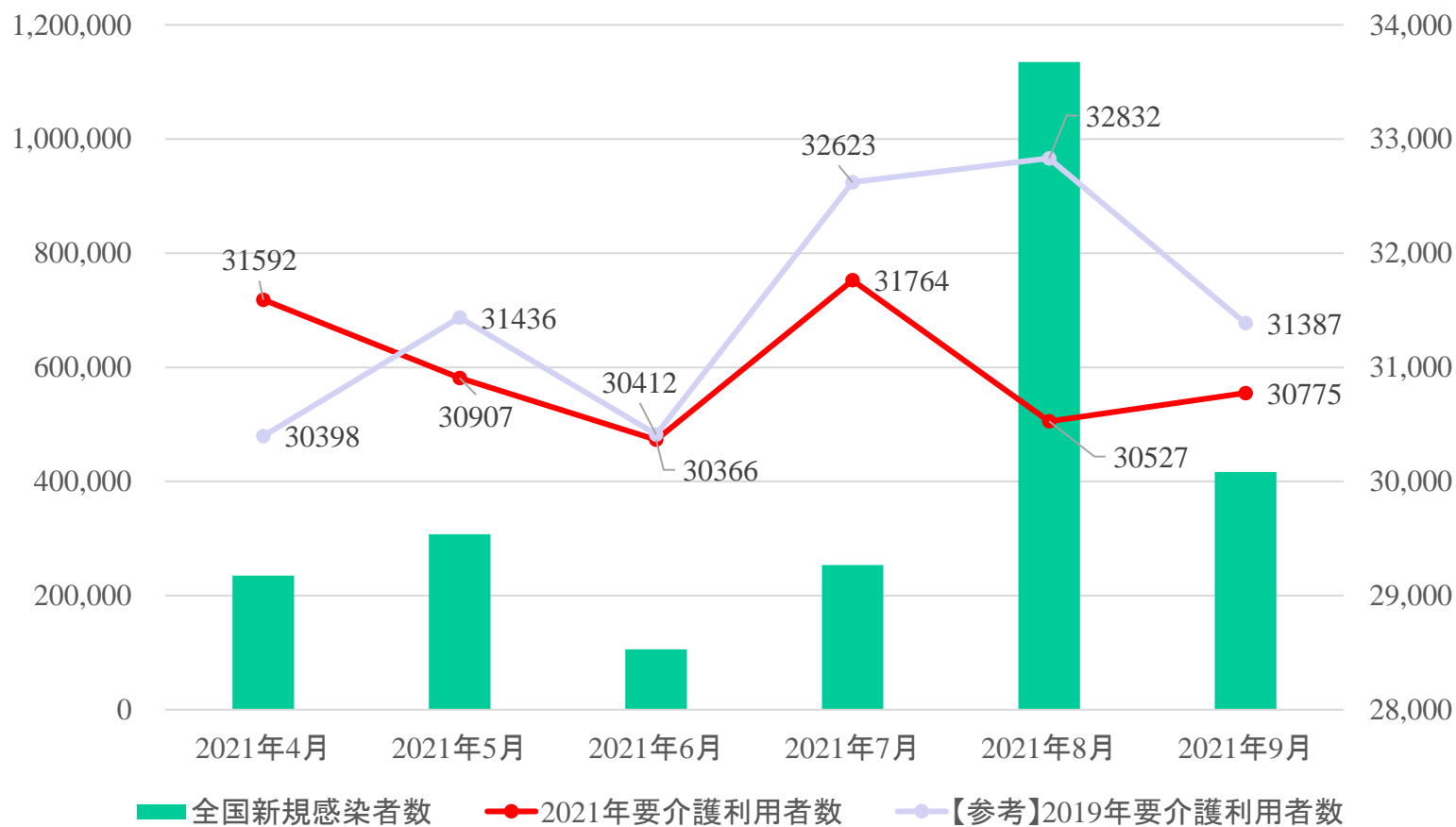


※麻生の郷(50部屋)2021年3月1日開設
 ※武蔵野の郷(74部屋)2021年7月1日開設

当社の取り組むべきこと

当社の取り組むべきこと

コロナウィルス感染者数とデイサービス月間利用回数推移



出典:厚生労働省ホームページ「感染者動向」

当社の取り組むべきこと

デイサービス利用回数回復へ

専用車両を導入し、
関東地区は湯河原、
九州地区は別府から
温泉を直送し提供。



湯河原から温泉直送！
7月29日プレオープン！

あおぞらの里で
温泉に入ろう！

汗を流してさっぱりすべすべ。肌の湯をご堪能ください。

歴史ある温泉！
さもぎの効能！
動画も2部も作成中！



温泉プロジェクト動画、
YouTubeチャンネルで公開中

[https://www.youtube.com/channel/
UCmkRPBqiCeFhdNImQu5DVoA](https://www.youtube.com/channel/UCmkRPBqiCeFhdNImQu5DVoA)

当社の取り組むべきこと

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト

自立支援・重度化防止を効果的に行うための取組の連携

リハビリ、栄養、口腔の取組は一体となって運用されることで、より効果的な自立支援・重度化予防につながることが期待される。

医師、歯科医師、リハ専門職、管理栄養士、歯科衛生士等の
多職種による総合的なリハ、機能訓練、口腔・栄養管理

・筋力・持久力の向上
・活動量に応じた適切な
栄養摂取量の調整
・低栄養の予防・改善
・食欲の増進

リハビリテーション・
機能訓練

・口腔・嚥下機能の維持・
改善
・口腔衛生や全身管理に
よる誤嚥性肺炎の予防

栄養

口腔

・適切な食事形態・摂取方法の提供 ・食事摂取量の維持・改善 ・経口摂取の維持

・リハビリの負荷又は活動量に応じて、必要なエネルギー量や栄養素を調整することが、筋力・持久力の向上及びADL維持・改善に重要である。
・誤嚥性肺炎の予防及び口腔・嚥下障害の改善には、医科歯科連携を含む多職種連携が有効である。
・口腔・嚥下機能を適切に評価することで、食事形態・摂取方法の提供及び経口摂取の維持が可能となる。

出所：第178回介護給付費分科会より

- ① 誤嚥性肺炎になりにくくなる
- ② 口腔機能を良好に保つことで美味しく食事が摂れ、免疫機能が向上することにより他の感染症にかかるリスクも低下する
- ③ 免疫機能が向上することにより、入院日数が減少する
- ④ 入院日数が減少するためご本人の入院費用、国全体の医療費用の削減にもつながる
- ⑤ 入院日数が減少するため介護施設の収入増加にもつながる

当社の取り組むべきこと

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト

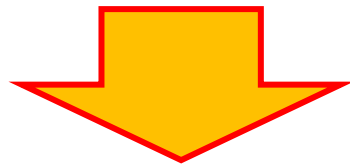


当社の取り組むべきこと

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト

《口腔ケア初級セミナー》	416名受講終了
《初級セミナー確認試験合格者》	70名合格
《中級・上級セミナー》	62名受講終了

入居者様のお口の状況改善による誤嚥性肺炎予防(入院日数減)を目指しつつ、併せて介護加算算定による収益増を同時に進めていく。



2021年4月～9月期において対前年比較で肺炎／誤嚥性肺炎による入院日数が**947日減(27.3%減)**となっており、売上高に換算すると**約5,680千円増**となり、**収益増に効果**が表れている。

当社の取り組むべきこと

介護職員対策について

介護職員の確保と定着

- ・政府が検討している来年2月の賃金値上げへ対応。
- ・介護福祉士等の資格取得支援。
(介護福祉士資格:2021年受験者数84名、内合格者数70名)

外国人雇用

- ・国内の労働力減少を見据えて、外国人技能実習生受入継続。
⇒2021年 6名新規受入。合計12名受入(千葉県、神奈川県)
- ・新たな在留資格『特定技能』を利用した受入も検討。
- ・英語マニュアル、規定整備の推進。

当社の取り組むべきこと

事業展開について

既存施設の営業強化

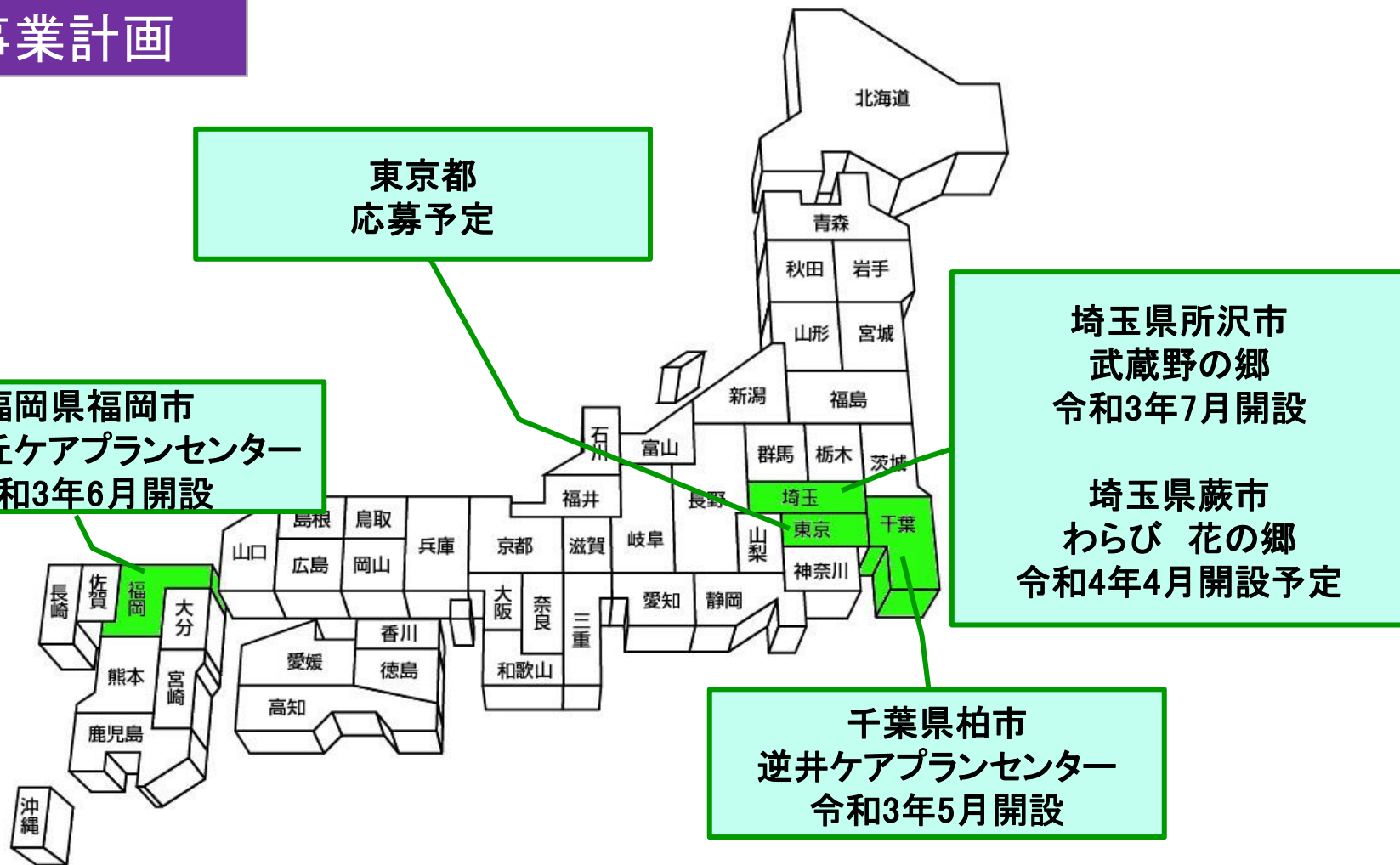
- ・ケアプランセンター増設を行い、デイサービスセンターとの連携強化。
2021年5月 ⇒ 逆井ケアプランセンター開設
2021年6月 ⇒ 香住ヶ丘ケアプランセンター開設
- ・2020年3月ケアプランセンター: 19カ所(76名)
⇒2021年6月時点ケアプランセンター: 23カ所(88名)

事業拡大・管理

- ・M&Aの検討。
- ・管理が困難な施設の統合・整理。
- ・今後も特定施設の公募があれば、積極的に応募予定。

当社の取り組むべきこと

事業計画



本資料の取り扱いについて

本資料は株式会社シダーの事業及び業界動向についての株式会社シダーによる現在の予定、推定、見込み、又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。既に知られたもしくは今だに知られていないリスクや不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シダーは将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2021年12月15日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社シダーにより2021年12月15日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2021年12月15日 株式会社シダー

